

研修会報告

令和8年2月4日

文責：佐々木 香穂

研修会テーマ「ついに臨床実装！造血器腫瘍遺伝子パネル検査の実際とこれから」

開催日時：令和8年1月31日（土）13：00～14：30

会場：Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会：東北大学病院診療技術部 臨床検査部門 吉岡 翔 技師

生涯教育点数：専門教科 20 点

参加者：会員参加者 24 名 非会員 3 名 合計 27 名

講演 1

13:00～13:30 「当院におけるへムサイト運用の紹介と課題」

東北大学病院診療技術部 臨床検査部門 真山 晃史 技師

講演 2

13:30～14:30 「造血器腫瘍とその遺伝子パネル検査の実際」

東北大学病院 血液内科・検査部 加藤 浩貴 先生

内容

今回の研修会は「ついに臨床実装！造血器腫瘍遺伝子パネル検査の実際とこれから」と題して、Zoom ウェビナーを用いた Web 形式で開催した。

講演 1 では、真山技師よりがんゲノム医療やへムサイトの概要、東北大学病院のへムサイト運用について等幅広くご講演いただいた。講演前半ではがんゲノム医療の基礎的な説明をメインとした講演であり、ゲノム医療に携わる機会の少ない技師にもがんゲノム医療やがん遺伝子パネル検査の流れが想像しやすい内容であった。講演後半ではがんゲノム医療コーディネーターについても取り上げられており、がんゲノム検査に検査技師が関わることの大切さも取り上げられていた。がんゲノム医療に関わる検査を実施している施設だけでなく、今後がんゲノム医療連携病院認定を目指す施設に所属する検査技師に向けても大変参考になるご講演であった。

講演 2 では、加藤先生より造血器腫瘍についての学術的なことから造血器腫瘍におけるゲノム検査の目的や意義、造血器腫瘍と固形腫瘍でのパネル検査の違いなど限られた時間の中で網羅的にご講演いただいた。造血器腫瘍専用のパネル検査の必要性のお話の中では造血器腫瘍専用のパネル検査を開発するに至った経緯やパネル検査に治療法選択だけでなく診断、予後予測も求められることからパネル検査にも迅速性が求められることなどの説明があった。今後各施設からへムサイトの出検が増加することが予想される中で、非常に学

びの多いご講演であり、臨床の先生からの知見をうかがう貴重な機会となった。

講演 1・2 とも闊達な質疑応答が行われ、研修テーマへの関心の高さがうかがえる研修会であったと考える。

今後も会員にとって価値ある研修会を企画・開催していきたい。